

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 江洲教室		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	8年 5月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童に合わせた適切な支援とその共有において評価をしていただけている(特に学校側から)	本人の困り感や家族のニーズに加え、学校とのやり取りも密になって行うことで学校側の困り感や質問も共有していただくことが出来ており、それに応えていくことで児童の変化も感じることができているのではないのでしょうか。	知識の共有や療育の視点に加え、本人に合った環境の調整やそれに必要なグッズ、ツール等などを充実させ、それを扱っていくことでより課題や困り感の解消出来るよう準備をしています。

2	様々な学校からの評価をいただいている。	地域を限定することなく、児童のニーズに合わせて湧き隔てなく介入させていただいている。本人のニーズや学校側の困り感なども参考にさせていただきながら、学校長にも会議に参加をしていただき、その必要性を説明させていただいた。	担当児童以外にも訪問の必要性がありそのような児童を各関係機関にも聞き取りをし、訪問に繋げられるようアピールしていきます。まだ開拓できていない学校に対して、相談員さんやその他関係機関の方々にも協力をしていただきながら開拓をしていく。
---	---------------------	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援のみを利用しているご家庭に向けた取り組みの開催が出来ていない（放課後等デイサービスのみでの取り組みとなってしまう）	各取り組みが、放課後等デイサービス利用者への取り組みとしてのみ展開をしてしまっていた。他事業を展開しているという自覚が浅かった。	放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、という別のサービスではあるが、どちらも展開している施設として、一緒に展開していけるよう体勢を整えていく。
2	支援員が少数ということもあり、利用希望にすべて応えることができていない。	訪問員の数が少ないので増やしていきたい。	人材の確保と育成をしてよりニーズに応えられるよう努力していきたいです。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	果実の木 江洲教室
------	-----------

公表日 令和8年5月18日

利用児

童数 11

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1		1		新しい教材を準備しており、整 い次第取り組んでいきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0				
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9	1				
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	2				
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思 いますか。	9	1				

適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10	0				
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0				
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9	1				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1				

保護者への説明等

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7	2		1		開催をした回数が限られていたため全員への案内やの参加が出来ませんでした。開催時期や周知方法の検討をしていきます。
15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0				
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0				
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1				
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0				
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10	0				
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10	0				

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	1		1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	0				
	28	事業所の支援に満足していますか。	10	0				

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 5月 18日

果実の木 江洲教室

利用児童数

11 回収数

9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、 具体的でわかりやすく、取り入れ やすいものですか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援記録が詳しく、共通確認することが出来てよかった</li> <li>・特性に合わせて具体的な説明がありわかりやすい</li> <li>・すぐに実践できるアドバイスをしてくれ、他の児童にも実践できた。</li> </ul>	<p>支援記録は本人のゴールとそれに向けたステップを明確になることも目的となっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性理解や療育の視点などがそのまま教育現場にも活かしてもらえることはこちらとしてもとても嬉しく思います。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・ 技術等に満足していますか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態を把握した上で支援してくれ、成長が見られます。</li> <li>・何より児童の事を理解してくれている。</li> <li>・質問に対して専門的知見ですぐに返答を頂き支援に繋がられている。</li> </ul>	<p>いくら知識と技術を有していても、その対象児童の理解と関係性構築をが整っていないと安定した療育が出来ません。まずはその部分を深めて行く事を最優先としておりますのでこのような評価をいただけて光栄です。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適 時・適切に回答してくれています か。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学級で授業参加することが難しかったため、訪問支援があり助かっている（支援級担任）</li> <li>・振り返りや支援記録等して共通確認が出来て良かった。</li> <li>・適切な助言をいただき、スモールステップの目標設定が出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級の児童は双方のクラスの連携もとても大切な部分ですよね。その架け橋としての機能も果たせるようで良かったです。</li> </ul>

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1		<p>1対1で対応してもらえることに関しては、課題解決に向けて困りごとが解消されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問があるおかげで児童が安心して学校にいる事が出来た</li> <li>・支援記録のおかげで色々可視化され、指導計画へつなげられた。</li> <li>・同じベクトルで指導してくれて助かった。</li> <li>・児童に対してより深い情報を得られたので児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1で児童と関われる時間があることも保育所等訪問支援の強みの一つです。私たちの介入でより多くの児童様の「困った」を解消していければと思います。</li> <li>・訪問を行うことが児童様の安心に繋がっていることを知れて嬉しく思います。</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時にその児童に寄り添ってもらえるのは助かっている。</li> <li>・児童との関係も良好。ぜひ次年度もお願いしたい。</li> <li>・児童の様子や支援方法を共有することが出来て心強い。</li> <li>・WAVESの診断により的確な支援へつなげられた。</li> <li>・他の児童や保護者にも薦めたいくらい満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見をいただき、大変励みになります。今後も同様のご意見をいただけるよう、尽力してまいります。</li> <li>・WAVESの導入により、よりピンポイントな介入が出来ている事を実感しております。それに留まらず、今後も新しい取り組みの準備もしております。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>					<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りやフィードバックの時間が授業内であったり他の児童の対応を後回しにしたりトイレ休憩を削ったりして対応しなければいけないことがある（交流級担任なので）</li> <li>・本人からはもちろん、保護者からも信頼がある事を感じる。細やかで専門的な支援体制があるからこそその信頼を感じる。</li> <li>・専門的知識や技術を自分自身も習得できる機会となっている。通常学級への担任にも共有し、インクルーシブに努めていきたい。</li> <li>・授業後、記録やフィードバックをしてくれることが助かっています。個別ファイルにし、次年度の担任にも引き継ぎができるのでありがたいです。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りやフィードバックの時間に関しましては多数ご意見をいただいております。先生方の貴重なお時間を割いての対応となりますので簡略化し、対応していきます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</li> <li>・訪問支援を行う上で、学校様のみならず、保護者様との連携も不可欠となっております。その信頼感を感じていただけている様ならば、こちら側も安心できます。ありがとうございます。</li> <li>・年度の入替わりは特に学校様は忙しい時期と認識しています。訪問支援がその助力の一つとなっただけしているようでしたら嬉しいです。今後ともよろしく願いいたします。</li> </ul>	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	果実の木 江洲教室
------	-----------

公表日 令和8年5月18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 運 営 ・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	より個に合った教材を準備中	早く導入できるよう準備を進めています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		自事業所のみならず、会社として月1のMTを行っている	支援員の貴重な時間を割いて開催しておりますのでより良い学びの場となるよう取り組んでいきたいです。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			

	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		研修で得られる知識が現場には必須であり、特性理解の研修を実施している。	知識を得るだけでなくそれを発揮して療育を展開していくことが大切ですので今後も継続して
適切な	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	1	事前のアセスメントをより力を入れていきたい	よりよいアセスメントを取るためのツールなどを導入予定です。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	新しいツールを導入予定	訪問員全員が扱えるよう落とし込みをしている段階です。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			

支 援 の 提 供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	毎月開催のMT以外にも日々相談等をしている	学校側と児童のニーズに合わせるため、支援開始時間が始業時間になってしまう場合があります。そのような場合は打ち合わせが出来たい事がありますがその場合は相応のフォローが出来るよう努めていきたいです。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	毎日ではなく定期開催。当日は緊急性の高い案件のみ共有をしている。	同上
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		教育理念の確認を行ってきたい	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		毎回取り組み、まとめて担当者に記録を渡している	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			学校教員や保護者へのフィードバックの時間確保が難しい。
関 係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		支援員として参加することが出来た。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		移行の事案はまだ無いが、準備は整えている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3	機会があれば参加したい。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		今後、よりよい展開ができるよう準備中
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		二ーズを参考に作成している。	

保護者等への説明等	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2		放デイと併用している児童は放デイで行っているが、訪問のみの児童は行っていない。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		放デイと併用している児童は放デイで行っているが、訪問のみの児童は実施していない
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			

	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			
--	----	--	---	--	--	--